

- 行田市では、木の温もりを身近に感じてもらい、森林整備への理解を深めていただくため、公共施設等への木材利用に森林環境譲与税を活用しています。
- 令和2年度は、昨年度に引き続き市内小学校に木製の背面ロッカー及び掃除用具入れを整備し、内装の木質化を推進しました。
- また、今後の活用に向けて森林環境整備促進基金を創設し、基金への積立てを行いました。

事業内容

1 公共施設の木質化事業

- ・国産材（北海道産タモ材）を活用し、小学校4教室の背面ロッカーと掃除用具入れについて木質化を実施しました。

【事業費】4,510千円（うち譲与税4,510千円）

【実績】木材使用量 約1.8m³

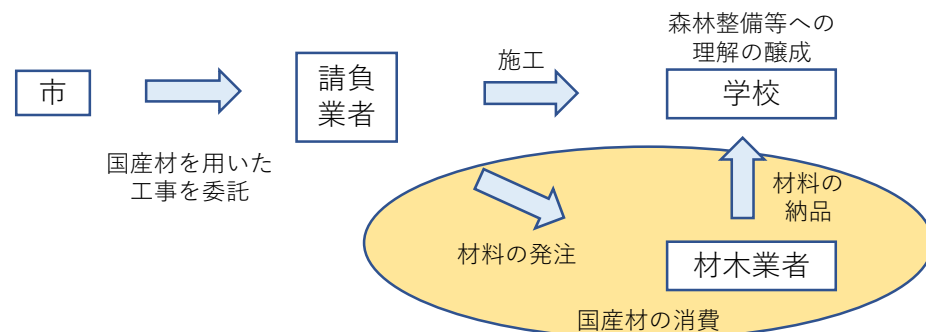


2 森林環境整備促進基金への積立て

- ・今後の活用に向けて森林環境整備促進基金を創設し、基金への積立てを実施しました。

【積立額】2,182千円（うち譲与税2,182千円）

事業スキーム（公共施設の木質化事業）



工夫・留意した点（公共施設の木質化事業）

- ・材料選定においては、耐久性や美観を考慮し、反りやねじれ、割れがおこりにくく天然木よりも優れた強度を持つ集成材としました。

基礎データ

①令和2年度譲与額	6,692千円
②私有林人工林面積（※1）	0 ha
③林野率（※2）	0.16%
④人口（※3）	82,113人
⑤林業就業者数（※4）	2人

※1：「森林資源現況調査（林野庁、H29.3.31現在）」より

※2：「2015農林業センサス」より ※3, 4：「H27年国勢調査」より